

## 研究室報告

- ① 今年度は、岩井昌悟教授（国内特別研究）が研究に専念するために大学院の一部を除き講義等を担当しなかった。
- ② 今年度は新入生歓迎行事として、四月ガイダンス時に学内にて交流会を行う予定であったが、新型コロナウイルスの流行のため、ガイダンスのみを実施し、交流会は中止となった。
- ③ 今年度海外文化研修をインドにおいて実施する計画であったが、やはり新型コロナウイルスの流行のため、中止となった。
- ④ 本年度、大学院（インド哲学仏教学専攻）の公開研究発表会を春学期（六月二三日）と秋学期（十一月二四日）にオンライン形式で開催した。春学期、秋学期ともオンラインで開催した。春学期は以下の発表があった。新入生研究計画は森原康暉、奥西極、（以上M1）の二名、研究発表は崇昊（M2）「季潭宗泐の事跡について」、是松宏明（D3）「ジャイナ教の瞑想論における他派批判」、星宮康子（D3）「チャラカ・サンヒター」における来世非存在論批判」、梅田愛子（D3）「維摩経」のパラドックスとその構造」の四発表であった。また秋学期は、福島マシユ（D1）「ツォンカパの「密意解明」について」、村田良子（D2）「ヨーガ・シカー・ウパニシャッドYogasikha Upanisadの研究—ヨーガ・ピージャ
- ⑤ 二〇二二年七月二十四日にオンラインで開催された白山中国学会第二十一回研究発表大会において、大学院生（中国哲学専攻）の研究報告・発表が行われた。博士前期課程の研究報告は、【M1】張萌芳「陽明学における「一念」の思想について」、頼晨曦「莊子の「遊」及び後世への影響について」、方一「李清照の詞風および後世への影響」、【M2】鄭丹「謝靈運詩の声律美——永嘉時期の五言古詩をめぐって」、李華偉「毛奇齡の思想における善と悪」の五発表、博士後期課程の研究報告は【D2】劉心奕「羅洪先の「止」（良止）の思想について」、【D3】黒田祐介「羅近溪の格物説——本末格物説との関わりについて」の二発表であった。基調講演は川田健（本学科助教）「副詞の意味のイメージをどう伝えるか—初級中国語教育の観点から」であった。
- ⑥ 本年度のティーチングアシスタントは、板敷真純、黒田祐

介、志村敦弘、福島マシュー、星宮康子、劉心奕（五〇音順）の各氏が担当した。

⑧ 本年度の卒業論文の提出者は、第Ⅰ部東洋思想文化学科では九一名、第Ⅱ部東洋思想文化学科では一八名であった。大学院の修士論文提出者は、中国哲学専攻二名、インド哲学仏教学専攻二名であった。

本年度の優秀論文に対する褒賞は左記の通りである。

【校友会奨学基金】

学 部 該当なし（Ⅰ部）、塩谷ゆん（Ⅱ部）

大学院（中国哲学専攻）鄭丹

【勸学奨学基金】

学 部 該当なし（Ⅰ部）、齋藤藍杜（Ⅱ部）

・田村芳朗奨学基金

学 部 該当なし

大学院 該当なし

二〇二一年度業績（二〇二一年一月～十二月）

伊吹 敦

○研究活動

〈著書〉

『中国禅思想史』（禅文化研究所、二〇二二年六月、九二八頁）

〈論文〉

『師資血脈傳』に見る『傳法寶紀』の影響と神會の獨自性」（『東洋思想文化』八、二〇二一年三月、一七四～一三三頁）

『佛教は哲學なりや宗教なりや（中國篇・下）——近代中國における佛教の脱宗教化の進展』（『東洋学研究』五八、二〇二一年三月、二二三～二五二頁）

『巨視的に見た中世禅の位相』（榎本涉・亀山隆彦・米田真理子編『中世禅の知』臨川書店、二〇二二年七月、一七四～一八一頁）

『李舟撰『能大師傳』の内容とその歴史的意義』（『國際禅研究』七、二〇二二年八月、一五一～一八二頁）

『六祖壇經』の成立に關する新見解——敦煌本『壇經』に見る三階教の影響とその意味』（『國際禅研究』七、二〇二二年八月、五～四四頁）

『六祖坛经』成书的新见解——敦煌本《坛经》中所见三阶教

的影响及其意义」（通然訳、『國際禅研究』七、二〇二二年八月、一七～一五〇頁）

[A New Perspective on the Authorship of *The Platform Sutra*: The Implications of Sanjia Ideology in the Dunhang Text] (シヨセフ・C・ウィリアムズ訳、『國際禅研究』七、二〇二二年八月、四五～一六頁)

『敦煌本『壇經』から『曹溪大師傳』へ——八世紀後半の長安における荷澤宗の思想的變遷』（『印度学仏教学研究』七〇一、二〇二一年十二月、三二二～三〇五頁）

〈翻訳〉

『武周帝国』（635-705）から『安史の乱』（755-763）へ——禅宗の歴史的転換と現代化の契機」（陳金華著、単訳、『國際禅研究』七、二〇二二年八月、一三二～一五三頁）

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日・韓・中国際仏教学術大会（幹事・編集委員）／東アジア仏教研究会（役員）／日本印度学仏教学会（会員）／日本佛教学会（会員）／仏教史学会（会員）／早稲田大学東洋哲学会（会員）

学会発表等

『敦煌本『壇經』から『曹溪大師傳』へ——八世紀後半の長安における荷澤宗の思想的變遷』（二〇二一年九月五日、印度学仏教学会第七二回学術大会、大谷大学、オンライン開

催)

「李舟撰『能大師傳』の内容とその歴史的意義」(二〇二一年五月二十九日、国際禅研究プロジェクト定例研究会、東洋大学、オンライン開催)

「禅芸術とは何か―久松真一の『禅芸術』論とそれへの反響を糸口にして」(二〇二一年一〇月九日、国際禅研究プロジェクト主催国際シンポジウム「禅文化の諸相とその特質」、東洋大学、オンライン開催)

「近代中国における佛教學的知見の流入と佛教認識の變化」(二〇二一年一〇月三十一日、国際禅研究プロジェクト・東洋大学東洋学研究所主催国際シンポジウム「近代化は仏教をどう変えたのか」、東洋大学、オンライン開催)

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費助成金「海外の研究者との連携による中国・日本における禅思想の形成と受容に関する研究」(基盤研究(A)17100904) 研究代表者

井上円了記念研究助成「外国人研究者との連携による東アジア仏教の歴史と思想の解明」(研究所プロジェクト、研究代表者)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・東洋思想文化演習・卒論指導⑥(Ⅰ部、通年)  
東洋思想文化演習・卒論指導②(Ⅱ部、通年)

中国仏教史A(Ⅰ・Ⅱ部、春学期)

中国仏教史B(Ⅰ・Ⅱ部、秋学期)

仏教漢文A(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、春学期)

仏教漢文B(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期)

レポート・論文制作の技法(Ⅰ部、春学期)

東洋思想特講ⅡA(Ⅰ部、春学期)

近代化と東洋(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期) 二回担当

「近代における禅の再発見―胡適・鈴木大拙・和辻哲郎」(九月二十九日)

「近代化と中国仏教」(十月二十七日)

総合ⅧB1(校友会寄附講座、Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期) 一回担当

「哲学館の後継者たちの活躍―境野黄洋、高嶋米峰

など」(十一月一三日)

大学院・東アジア仏教研究ⅠA・仏教学研究指導ⅣA(前期課程、春学期)

東アジア仏教研究ⅠB・仏教学研究指導ⅣB(前期課程、秋学期)

仏教学研究指導ⅣA(後期課程、春学期)

仏教学研究指導ⅣB(後期課程、秋学期)

仏教学研究指導ⅢB・仏教学研究指導ⅣB(後期課程、秋学期)

仏教学研究指導ⅢA・仏教学研究指導ⅣA(後期課程、春学期)

仏教学研究指導ⅢB・仏教学研究指導ⅣB(後期課程、秋学期)

仏教学研究指導ⅢA・仏教学研究指導ⅣA(後期課程、春学期)

仏教学研究指導ⅢB・仏教学研究指導ⅣB(後期課程、秋学期)

仏教学研究指導ⅢA・仏教学研究指導ⅣA(後期課程、春学期)

仏教学研究指導ⅢB・仏教学研究指導ⅣB(後期課程、秋学期)

○大学管理運営活動

文学研究科インド哲学仏教学専攻長、教職センター運営委員会委員、文学部ホームページ担当委員（東洋思想文化学科）・東洋大学東洋学研究所研究員

○社会的活動

（公益財団法人）中村元東方研究所兼任研究員

岩井 昌悟（国内特別研究中）

〈学内担当科目〉

大学院・インド仏教研究ⅠA・仏教学研究指導ⅢA（前期課程）  
仏教学研究指導ⅢA・仏教学特殊研究ⅣA（後期課程）

川田 健

○研究活動

〈論文〉

「副詞「还」の基本イメージと教材の一例、『東洋思想文化』第七号、九三～一二〇頁、二〇二二年三月

〈基調講演〉

「副詞の意味のイメージをどう伝えるか―初級中国語教育の観点から」（白山中国学会第二一回研究発表大会、二〇二一年七月二四日、東洋大学、オンライン開催）

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会（会員）・白山中国学会（理事）・日本マンガ学会（会員）・中国古典学会（幹事）・日本詩経学会（会員）・日本漢詩文学会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法（Ⅰ部）

中国文学講読A・B（Ⅱ部）

中国思想文化演習A・B（Ⅰ部）

漢文訓読法（Ⅰ部）

中国語学演習A・B（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）

〈学外担当科目〉

中国語インテンシブⅣ（慶應義塾大学総合政策学部）春・秋

中国語スキル（思想）（慶應義塾大学総合政策学部）春

歴史と文明（慶應義塾大学総合政策学部）春

サブカルチャーと社会認識（慶應義塾大学総合政策学部）秋

坂井 多穂子

○研究活動

〈論文〉

・「北宋文人の養鶴趣味」、『東洋思想文化』第八号、一～四〇頁、二〇二二年三月、東洋大学文学部東洋思想文化学科紀要

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

- 日本中国学会（大会委員会委員）／日本宋代文学学会（理事・日本宋代文學學會報）編集委員会委員長／白山中国学会（理事・会計委員）／中唐文学会（会員）／中国文史研究会（会員）／日本杜甫学会（会員）

○教育活動

〈学内担当科目〉

- 学部・レポート・論文制作の技法《春》（Ⅱ部）
- 中国学概論A（Ⅰ部）六月一〇日～七月二二日、七回担当

漢文訓読法《秋》（Ⅱ部）

中国学研究法B（Ⅰ部・Ⅱ部）

中国文学講読A・B（Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）

東洋思想文化演習ⅡA・B（Ⅰ部）

大学院・中国文学特論ⅡA・B（博士前期課程）

中国哲学研究指導ⅠA・B（博士前期課程）

中国哲学特殊研究ⅣA・B（博士後期課程）

中国哲学研究指導ⅣA・B（博士後期課程）

〈その他〉

付属牛久高校学部説明会（オンライン） 二二月一四日

○大学管理運営活動

年次刊行物編集委員会委員長、全学入試委員、文学部入試委員、

文学部予算委員、東洋大学東洋学研究所研究員・同運営委員

小路口 聡

○研究活動

〈論文〉

『孟子』公孫丑上篇「人皆有不忍人之心」章を読む——哲学資源として漢文を「読む」——、『白山中国学』通巻二七号、二〇二二年三月、一～四〇頁

「心創造理」——荒木見悟教授「心即理」解釈的可能性——呉震・申緒璐主編『中国哲学的豊富性再現——荒木見悟と近世中国思想論集』上海古籍出版社、二〇二二年十一月、二六三～二八一頁（余祺琪訳）

〈訳注〉

『聶豹「会語」資料（復古書院記他）訳注——陽明門下の会語記録を読む 其の六——』、『白山中国学』通巻二七号、二〇二二年三月、二五～五一頁 \*吉田公平・早坂俊廣・鶴

成久章・伊香賀隆・播本崇史と共著

〈翻訳〉

呉震「現成良知（上）——陽明学とその後学の思想的展開——」、

『東洋思想文化』東洋大学文学部紀要第七四集（東洋思想文化学科篇Ⅷ）、二〇二二年三月、一～四七頁

〈研究プロジェクト〉

・科学研究費助成金「新安理学」の脱構築——中国近世の程朱

闕里における思想の変遷に関する通時的考察―(研究種目: 基盤研究 (B)、課題番号: 21H00471)、\*研究代表者

・科学研究費助成金「哲学資源としての漢文教材および学び方の開発に関する基礎的研究」(研究種目: 基盤研究 (C)、課題番号: 20K02730)、\*分担研究者

・東洋大学国際哲学研究センター研究員

#### 〈学会活動〉

日本中國學會(会員)、白山中国学会(理事・「白山中国学」編集委員)、中国文史哲研究会(会員)、東洋古典學研究会(会員)、東洋大学国際哲学研究センター研究員

#### ○教育活動

#### 〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法(春学期)

中国学概論A(Ⅰ部) \*第一回から第七回担当

東洋思想文化演習Ⅰ⑩A B(Ⅰ部)

中国哲学史A B(Ⅰ部)

中国哲学特講A B(Ⅰ部・Ⅱ部)

卒業論文(Ⅱ部・秋学期)

卒論指導A B(中国語・中国哲学文学コース代表、Ⅰ

部・Ⅱ部)

大学院: 中国哲学特論Ⅲ(博士前期課程)

中国哲学演習Ⅱ(博士前期課程)

中国哲学研究指導Ⅲ(博士前期課程)

中国哲学特殊研究Ⅲ(博士後期課程)  
中国哲学研究指導Ⅲ(博士後期課程)

#### ○社会貢献活動

令和三年こしがや市民活動連合会講演会「ほんとうの「豊かさ」とは——性善説の人間学」(二〇二一年一〇月一六日、越谷市中央市民会館) \*東洋大学全国講師派遣事業

#### ○大学管理運営活動

二部東洋思想文化科学科科長、文学部グローバル化推進委員、東洋大学東洋学研究所運営委員・同編集委員

#### 白井 順

#### ○研究活動

#### 〈論文〉

「秋山罷斎―近代崎門学者の肖像」、『東洋思想文化』第八号、

四一―六七頁、二〇二二年三月

#### 〈講演〉

「秋山罷斎―生田正庵との交流について」二〇二一年三月二  
日、第二十回白山中国学会

#### 〈学会活動〉 所属学会

日本中国学会(会員) / 日本道教学会(会員) / 東方学会(会  
員) / 朝鮮学会(会員) / 韓国思想史学会(委員) / 白山中  
国学会(理事) / 日本儒教学会(会員) / 日本思想史学会(会  
員) / 大阪市立大学中国学会(会員) / 九州大学中国哲学研

究会(会員) / 九州中国学会(会員) / 阪神中哲談話会(会員) / 近現代東北アジア地域史研究会(会員)

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費補助金(基盤研究C)「秋山罷斎の基礎的文献研究」  
(課題番号 21K00055、研究代表者)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部：中国文献学A B (I部・II部)

中国語I A A I A B (I部)

中国学概論 (I部、秋学期第九回〜第十五回)

中国学研究法 (I部・II部、春学期)

東洋思想 (I部・II部、秋学期)

近代化と東洋 (I・II部乗り入れ、秋学期) 一回担当

「東洋学と近代」(十月三日、七時限)

大学院：中国哲学演習I A B (博士前期課程)

中国哲学研究指導I V A B (博士前期課程)

中国哲学特殊研究V A B (博士後期課程)

中国哲学研究指導V A B (博士後期課程)

〈学外担当科目〉

東京大学文学部・大学院人文社会系研究科：中国思想文化学

特殊講義I

○大学管理運営活動

文学部内外国語委員会委員 / 文学部カリキュラム検討委員会委

員 / 大学院図書館運営委員会委員 / 大学院文学研究科内FD  
委員

○社会的活動

校友会公開講座「巴蜀からみる三国志」(二〇二一年七月十七日、  
七月三十一日)

沼田 一郎

○研究活動

〈その他〉

・「サンスクリット村」を訪ねて「宮本久義 小西公大編著」  
「インドを旅する五十五章」明石書店、二〇二二年六月、一二八  
〜一三一頁。

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本南アジア学会(会員) / 日本印度学仏教学会(評議員・会

員) / 日本佛教学会(会員) / アジア法学会(会員) / 国際

井上円了学会(会員)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部：東洋思想文化演習 (I部)

サンスクリット語I A B

サンスクリット語II A B

インド思想特講I A (II部)

インド思想史A B (I部)

東洋思想文化演習 (II部)

レポート論文制作の技法 (II部)

大学院・インド哲学概論特殊研究III A B

インド哲学研究I A B

〈海外文化研修予備調査〉

二月二日～二五日まで、橋本泰元教授とともに研修予定先の

バナーラス・ヒンドゥー大学アーユルヴェーダ学部学部長お

よび同学部健康・ヨーガ学科学科長以下教員および文学部宗

教・哲学科全教員ならびに同学部外国語学科日本語専攻長ら

と学生交流のための企画を協議した。

○大学管理運営活動

文学部東洋思想文化学科第I部学科長・東洋学研究所運営委員

野間 信幸

○研究活動

〈論文〉

『針生少年の見た武漢の景色』『アジア文化研究所研究年報』第

五五号、二〇二一年一月三十一日、一二〇～一二八頁

〈その他〉

「日本万国博覧会まひの軌跡—EXPO70開催50周年の回顧—」

(後藤武秀氏との対談)『アジア文化研究所研究年報』第五

号、二〇二一年一月三十一日、一五三～一五五頁

〈学会活動〉

所属学会ならびに役職

日本中国学会(会員) / 日本台湾学会(会員) / 天理台湾学会

(理事) / 日本現代中国学会(会員) / 白山中国学会(理事)

／中国文芸研究会(会員)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法③《春》(I部)

中国文学史A・B (I部)

東洋思想文化演習I A・B (I部)

中国文学特講I A・B (I・II部乗り入れ)

中国学概論B (I部・秋学期前半)

中国文学史A・B (II部)

総合ⅧB(校友会寄附講座、オムニバス授業、秋学期

の一回担当)

「円丁の台湾巡講—南船北馬(台湾巡講)」十月九日

大学院・中国文学特論I A・B・中国哲学研究指導II A・B・

中国語学研究I A・B (前期課程)

中国哲学特殊研究I A・B・中国哲学研究指導I A・

B (後期課程)

○大学管理運営活動

大学院文学研究科中国哲学専攻長／東洋大学アジア文化研究所

所長

○社会的活動

アジアセンター21（維持会員）

橋本 泰元

○研究活動

〈論文〉

「スイク教聖典におけるスーフィー詩人ファリード―異宗教間の対話」（単著、『東洋学研究』第五八号、五七―七九頁、二〇二二年三月三一日）

〈その他〉

「インドで美酒を楽しむ」（コラム〇七）、宮本久義・小西公大（編）著『インドを旅する五五章』（明石書店、二三四―二三七頁、二〇二二年六月一〇日）

〈学会活動〉

〈所屬学会ならびに役職〉

日本印度学佛教学会（理事）／日本宗教学会（会員）／日本南アジア学会（会員）／日本佛教学会（会員）

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費助成金「インド・ヴリンダーヴァンのチャイタニヤ派における理論と実践の相互補完的研究」（二〇二〇年度）  
基盤研究（C） 課題番号20K00061 研究代表者

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部・レポート・論文制作の技法②（Ⅰ部）

インド思想史A・B（Ⅱ部）

ヒンドゥー教概論A・B（Ⅰ・Ⅱ部）

ヒンディー語A・B（Ⅰ・Ⅱ部）

インド哲学特講A（Ⅰ部）

東洋思想文化演習ⅠA・B（Ⅰ部）

東洋思想文化演習ⅡA・B（Ⅰ部）

卒論指導A・B（Ⅰ部）

仏教の芸能（秋学期、コーディネーター）（Ⅱ部）

東洋の身体論（春学期、コーディネーター）（Ⅱ部）

近代化と東洋（秋学期、コーディネーター）（Ⅱ部）

文学部伝統文化講座（TDB）「聲明公演」（オンラインで開催）

大学院：インド哲学研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅲ（前期課程）

インド哲学特殊研究Ⅱ・インド哲学研究指導Ⅱ（後期課程）

〈学外担当科目〉

大正大学学部・ヒンディー語Ⅲ・Ⅳ（総合）

○大学管理運営活動

東洋大学東洋学研究所研究員・運営委員／評議員選挙管理委員会委員／学部内キャリア・修飾推進委員会委員

○社会的活動

団体役員等

(特財) 大法輪石原育英会評議員

山口 しのぶ

○研究活動

〈論文〉

「バリ・ヒンドゥー教のサンスクリット儀軌 *Wedaparikrama*

—儀軌の概要および部分訳—」『東洋思想文化』第八号、

一一二—一二三頁、二〇二一年三月。

〈口頭発表〉

「バリ・ヒンドゥー教のサンスクリット儀軌 *Wedaparikrama*

の特色について」(日本印度學仏教學会第七二回学術大会、

二〇二一年九月四日、大谷大学、オンライン開催)

〈所属学会ならびに役職〉

日本印度學仏教學会(会員) / 日本宗教学会(会員) / 日本南

アジア学会(会員) / 日本佛教学会(会員) / 日本西蔵学会(会員)

／密教図像学会(会員) / 東海印度學仏教學会(会員) / 東

南アジア学会(会員)

〈研究プロジェクトへの参加〉

科学研究費補助金(基盤研究C)「インドネシア、バリ・ヒン

ドゥー儀礼におけるインド宗教の受容と変容に関する研究」

(研究代表者、JP 19K00064)

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部…東洋思想文化演習Ⅰ⑦A・B (Ⅰ部)

東洋思想文化演習Ⅱ⑦A・B (Ⅰ部)

卒論指導A・B⑦ (Ⅰ部)

インド・仏教の美術A・B (Ⅰ部)

インド・仏教の美術A・B (Ⅱ部)

チベット仏教のあゆみ(Ⅰ部) 春学期)

チベット仏教のあゆみ(Ⅱ部) 春学期)

伝統文化講座(第一、四、十二、十三、十五回およびコー

ディネーター担当)

近代化と東洋(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ、秋学期) 一回担当

「近代化とチベット」(十月十三日、七時限)

総合ⅧB1(校友会寄附講座) 一回担当

「日本の近代化と東洋大学―井上円了の哲学と実践―」

(Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ)「哲学館からチベットへ―明治の

取経僧・河口慧海と能海寛」十一月二〇日、五時限)

一回担当

大学院…インド仏教研究ⅣA・B、仏教学研究指導ⅡA・B(前

期課程)

仏教学特殊研究ⅡA・B、仏教学研究指導ⅡA・B(後

期課程)

○大学管理運営活動

東洋大学文学部長 / 東洋大学評議員 / 井上円了研究センター運

菅委員会委員／東洋大学東洋学研究所研究員・運営委員／東洋大学アジア文化研究所研究員

渡辺 章悟

○研究活動

〈著書〉

『観音の呪 大悲心陀羅尼』 仏教企画、2021.4.

〈論文〉

「曹洞宗で唱えられるダラニ経典 第五回 大悲心陀羅尼」『仏教企画通信』62号、2021年1月1日、pp.3-5.

「大乘仏教の興起」『大乘仏教の展開』（『仏教事典』日本仏教学会編）、丸善出版、2021年1月31日、pp.78-79、pp.80-81.

「パンデミックを生きる ―仏教心理学と脳科学から―」『日本仏教心理学会誌』Vol.12、2021.7. pp.102-103.

The Lineage of the Prajñāpāramitādaya: With a Focus on Its Introduction and Expressions of \* Emptiness. \* *Acta Asiatica*. Bulletin of The Eastern Culture 121—The Heart Sutra Revisited: The Frontier of Prajñāpāramitādaya Studies, The Toho Gakkai:Tokyo, 2021.8, pp.23-52.

〈学会活動〉

・所属学会ならびに役職

日本印度学仏教学会（理事・評議員・企画編集委員）／仏教思想学会（理事・評議員）／日本西蔵学会（委員）／（般財）

・東方学会（地区委員・会員）／日本佛教学会（会員）／（公財）東方研究会（兼任研究員）／日本仏教心理学会（会員）  
・学会発表及び参加

「パンデミックを生きる ―仏教心理学と脳科学から―」（仏教心理学会 第十二回学術大会）をテーマとするシンポジウム。  
東洋大学でのオンライン開催、二〇二一年五月一〇日（部会の主催、実行委員長）

仏教思想学会第三五回学術大会、早稲田大学でのオンライン開催、二〇二一年七月三日（理事会・研究発表会に参加）

「教判としての転法輪」第七十二回学術大会、日本印度学仏教学会、大谷大学でのオンライン開催、二〇二一年九月五日、および九月四日に第二部会の司会と理事会に参加。

「衆生―いのちあるもの」第九〇回学術大会、日本仏教学会、大正大学オンライン開催二〇二一年九月一日（発表者二名のコメントーターを務める）

〈研究プロジェクトの主宰及び参加〉

「パウッタコーシヤ・仏教用語の『日英基準訳語集』構築に向けた総合的研究」文科省科学研究費「基盤研究（A）」（研究代表者・斎藤明「国際仏教学大学院大学」研究分担者）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部：ブッダの思想とその展開 A・B（I・II部）  
インド仏教史 A・B（I部・II部）

東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ③（Ⅰ部）

総合ⅧA・B（校友会寄附講座、Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）

運営責任者ならびに六回の授業担当

大学院：大乘仏教研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅰ（博士前期課程）

仏教学特殊研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅰ（博士後期課程）

〈学外担当科目〉

大正大学大学院「MD仏教学特論A」春学期

（公財）中村元東方研究所 東方学院「大乘仏教概論」前期・

後期

○大学管理運営活動

東洋大学東洋学研究所（研究所長・運営委員・編集委員・研究所員）

所員）

○その他の社会活動

（公財）仏教伝道協会・英訳大蔵経編集委員会（委員）・同仏教

聖典編集委員会（委員）・同助成金審査委員会（委員）／（特財）

大法輪石原育英会奨学生選考委員会（委員）／（公財）中村

元東洋思想文化賞審査委員会（審査員）／東洋大学仏教会（会長）

長）

「パウッターコーシヤ・仏教用語の『日英基準訳語集』構築に向けての総合的研究」文科省科学研究費「基盤研究（A）」（研究

代表者・斎藤明「国際仏教学大学院大学」研究分担者）

○教育活動

〈学内担当科目〉

学部：ブッダの思想とその展開A・B（Ⅰ・Ⅱ部）

サンスクリット語ⅡA・B（Ⅰ部）

東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ③（Ⅰ部）

大乘仏教の思想Ⅰ（Ⅰ部、春学期）

レポート・論文制作の技法Ⅰ（Ⅰ部、春学期）

総合ⅧA・B（校友会寄附講座、Ⅰ・Ⅱ部乗り入れ）

運営責任者ならびに六回の授業担当

大学院：大乘仏教研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅰ（博士前期課程）

仏教学特殊研究Ⅰ・仏教学研究指導Ⅰ（博士後期課程）

○大学管理運営活動

東洋大学東洋学研究所（研究所長・運営委員・研究所員）

○その他の社会活動

（公財）仏教伝道協会・英訳大蔵経編集委員会（委員）・仏教聖

典編集委員会（委員）・助成金審査委員会（委員）／（特財）

大法輪石原育英会奨学生選考委員会（委員）／（公財）中村

元東洋思想文化賞審査委員会（審査員）／東洋大学仏教会（会長）

長）

## 二〇二二年度開講科目

・授業名、サブタイトル、担当者の順に記す。

・通年科目はA（春学期）・B（秋学期）に分かれるが、担当者が同一であり、かつ、サブタイトルが春秋通じて同一の場合、その区分は省略して記した。

・ただし、半期のみ授業については《春》《秋》と表記した。

・担当者および《春》《秋》の授業区分に付したカッコ内の数字は、それぞれⅠ部・Ⅱ部の区別を示す。カッコ内の数字が付されていないものは、Ⅰ部Ⅱ部隔年開講の科目か、Ⅰ部・Ⅱ部の担当者が同一であることを示す。

### 〈学部〉（五十音順）

#### 東洋思想文化学科

アジアの古典（インドの古典に触れる）

宮本 城

アジアの文学（女性が描く、女性を描く台湾文学）

橋本恭子

イスラーム概論《秋》（イスラーム的なものの捉え方・考え方を知る）

柴山 滋

インド現代思想《春》（ガンデーとアーンベードカル）その思想と対立）

石川 寛（Ⅰ）

インド古典思想概論A（ヴィシュヌ派の思想と展開）

三澤祐嗣

インド古典思想概論B（シヴァ派の思想と展開）

三澤祐嗣

インド思想史A B（インド思想と宗教の潮流を概観する）

橋本泰元（Ⅱ）

インド思想史A（インド思想と宗教の潮流を概観する）

沼田 一郎（Ⅰ）

インド思想史B（インドの叡智を探る）

沼田 一郎（Ⅰ）

インド思想特講ⅠA（ヒンドゥー教思想の核心…バクティ）

橋本泰元

インド思想特講ⅠB・ⅡA（インドの歴史と文化）

インド思想特講ⅡB《秋》（サーンキヤ思想とその展開）

三澤祐嗣（Ⅱ）

インド思想特講ⅢA《春》（バクティとヴィシュヌ派の思想）

インド思想特講ⅢB《秋》（インド神話を知る）

宮本 城

インド仏教史A（ブッダの覚りとその展開）

渡辺章悟

インド仏教史B（大乘仏教とは何か）

渡辺章悟

インド・仏教の美術A（仏教の仏と神々の図像学的考察）

山口しのぶ

インド・仏教の美術B（南アジアのヒンドゥー美術）

山口しのぶ

インド舞踊《春》（インド舞踊・バラタナティヤムの実技と

理論）

久保田幸代

インド文化概論A《春》（大叙事詩『マハーバータ』のイン

ド世界をたずねる）

村山和之

インド文化概論B《春》（文学を通して見るインド文化）



神道史 B (日本中世の仏教と神祇②)

伊藤 聡

総合Ⅷ A B ① (日本の近代化と東洋大学―井上円了の哲学と実践―(オムニバス形式))

チベット語 A (古典チベット語文法)

チベット語 B (『法華経普門品』(観音経)を読む)

チベット仏教史《春》

中級中国語 A B / 中国語Ⅳ A B (中国語のヒアリング能力を高める)

中級中国語 A B / 中国語Ⅳ A B

中級中国語 A B / 中国語Ⅳ A B (聴解の基礎) 多田 恵 (Ⅱ)

中国学概論 A (中国学への誘い) 小路口聡・坂井多穂子 (Ⅰ)

中国学概論 B (中国学への誘い) 野間信幸・白井 順 (Ⅰ)

中国学研究法 A (中国哲学研究の基礎知識) 白井 順

中国学研究法 B (中国学の基礎知識を学ぶ) 坂井多穂子

中国現代文学史 A B (中国二〇世紀文学の歩み) 田中路子

中国語学演習 A B (日本語文法書を中国語で読む) 川田 健

中国史概説 A (中華世界の拡大と再生) 竹内洋介

中国史概説 B (『華夷一家』への道) 竹内洋介

中国哲学講読 A B ② (『天道溯源』講読) 中村 聡 (Ⅰ)

中国哲学講読 A B ① (朱熹『論語集注』講読) 播本崇史 (Ⅱ)

中国哲学史 A B (中国に哲学はあるのか?) 小路口聡 (Ⅰ)

中国哲学史 A B (中国における「哲学」の姿) 坂本頼之 (Ⅱ)

中国哲学特講 I A B (原典資料で読む朱子学概論) 小路口聡

中国の美術 A (先史―南北朝時代の中国美術) 萩原 哉 (Ⅰ)

中国の美術 B (隋唐―明清時代の中国美術) 萩原 哉 (Ⅰ)

中国の美術 A B (中国の仏教・道教を中心とした宗教美術史) 田中知佐子 (Ⅱ)

中国仏教史 A (初伝期から南北朝まで) 伊吹 敦

中国仏教史 B (隋代から現代まで) 伊吹 敦

中国文学史 A B (先秦から唐の文学の諸相) 野間信幸

中国文学講読 A B ② (『唐詩三百首』を読む) 坂井多穂子

中国文学特講 I A B (台湾の歴史を知り、文学作品を読む) 野間信幸 (Ⅰ)

中国文学特講 I A B (中国文学を鑑賞する) 荒井 礼 (Ⅱ)

中国文献学 A (中国の文献を知るための基本知識) 白井 順

中国文献学 B (中国書誌学の基礎知識) 白井 順

中国学概説 A (自分の頭で考えて、自分の言葉で伝えるということ) 渡邊郁子 (Ⅱ)

中国学概説 B (自分の頭で考えて、主体的に行動するということ) 渡邊郁子 (Ⅱ)

東西交渉文化史 A (テュルク近現代史 1 (中央ユーラシア・日本)) 小野亮介

東西交渉文化史 B (テュルク近現代史 2 (オスマン帝国・トルコ共和国)) 小野亮介

東南アジア仏教史《春》(スリランカ及び東南アジアに普及した仏教の歴史を学ぶ) 戴内聡子

東洋思想《秋》(中国の思想家たち) 白井 順

東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ①A B (インド哲学の原典を読む) 沼田一郎

東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ②A B (ヒンドゥー教の思想・文化研究Ⅰ) 橋本泰元(Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ②A B (A仏教文献の読解/B自由研究Ⅰ) 伊吹敦(Ⅱ)

東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ③A B (インド大乘仏教の研究) 渡辺章悟(Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅰ④A B (漢詩を読む) 近藤光雄(Ⅱ)

東洋思想文化演習Ⅱ④A B (『国語』の読解を通じて訓詁の基本を学ぶ) 川田 健(Ⅱ)

東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ⑥A B (A仏教文献の読解/B自由研究Ⅰ) 伊吹 敦(Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅰ・Ⅱ⑦A B (アジアの芸術文化に関する英語文献講読) 山口しのぶ(Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅰ⑨A B (朱熹『孟子集注』告子上篇精読) 小路口聡(Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅱ⑨A B (『国語』の読解を通じて訓詁の基本を学ぶ) 川田 健(Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅰ⑪A B (中国の詩を中国語で読み、平仄分析する) 野間信幸(Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅱ⑪A (笑話を読む) 坂井多穂子(Ⅰ)

東洋思想文化演習Ⅱ⑪B (唐の伝奇小説を読み、当時の士大夫文学の側面に触れる) 坂井多穂子(Ⅰ)

東洋芸術文化特講ⅠA《春》(東アジアの植物文化と芸術) 久保輝幸(Ⅱ)

東洋芸術文化特講ⅠB《秋》(漢方と本草学) 久保輝幸(Ⅱ)

東洋芸術文化特講ⅡA《春》(インドの芸能と社会) 小尾 淳(Ⅰ)

東洋芸術文化特講ⅡB《秋》(文化人類学の視点にもとづき、今日におけるバリ島の芸能のあり方を学び、人間の創造性に触れる) 山本早良紗(Ⅱ)

東洋思想文化への誘いA B 小路口聡

東洋の身体論《春》(こころとからだをどう見るか)《オムニバス形式》 橋本泰元

日本漢学A B (日本では漢学を如何に学んで来たのか) 坂本頼之

日本仏教史A (日本仏教史(飛鳥時代・鎌倉時代)) 水谷香奈(Ⅰ)

日本仏教史B (日本仏教史(鎌倉時代・現代)) 水谷香奈(Ⅰ)

日本仏教史A (日本における仏教のあゆみと社会・文化・仏教伝来から平安時代まで) 橋川智昭(Ⅱ)

日本仏教史B (日本における仏教のあゆみと社会・文化・鎌倉時代から明治時代まで) 橋川智昭(Ⅱ)

比較宗教A B 松野智章

- ヒンディー語A《春》(ヒンディー語入門I)  
橋本泰元
- ヒンディー語B《秋》(IntroductiontoHindi2)  
橋本泰元
- ヒンドゥー教概論A B (ヒンドゥー教の思想を学ぶ)  
橋本泰元
- 仏教漢文A《春》(仏教漢文の基礎)  
伊吹 敦
- 仏教漢文B《秋》(經典注釈・浄土教文献を読む)  
伊吹 敦
- 仏教思想概論A《春》(「仏教とは何か」)  
渡辺章悟Ⅰ)
- 仏教思想概論A《春》(「仏教の思想とその展開」)  
渡辺章悟Ⅱ)
- 仏教思想概論B《秋》(「仏教の思想とその展開」)  
渡辺章悟
- 仏教思想特講ⅠA《春》(「空性思想の展開」)  
米澤嘉康
- 仏教思想特講ⅠB《春》(「華嚴経」の物語とその思想)  
橋川智昭
- 仏教思想特講ⅡA《春》(「禅思想の形成と社会との交渉」)  
伊吹 敦
- 仏教思想特講ⅡB《秋》(「密教の思想」)  
金本拓士
- 仏教思想特講ⅢB《秋》(「浄土思想」特に阿弥陀信仰)の形成・  
展開とその影響)  
水谷香奈(Ⅰ)
- 仏教と社会福祉《秋》(「いのち」に向き合う仏教者の活動に学  
ぶ)  
高瀬顕功
- 仏教の芸能《秋》(「仏教伝統歌謡の基本を学び実修してみよう」)  
橋本泰元(Ⅱ)
- 〈オムニバス形式〉
- ヨーガ《春》(実践をとおして思想を学ぶ)  
番場裕之(Ⅱ)
- レポート・論文制作の技法①《春》  
坂井多穂子(Ⅱ)
- レポート・論文制作の技法②《春》  
橋本泰元(Ⅰ)
- レポート・論文制作の技法②《春》  
沼田一郎(Ⅱ)
- レポート・論文制作の技法③《春》(卒業論文への第一歩)  
野間信幸(Ⅰ)
- レポート・論文制作の技法④《春》  
小路口聡(Ⅰ)
- レポート・論文制作の技法⑤《春》  
川田 健(Ⅰ)
- レポート・論文制作の技法⑥《春》  
伊吹 敦(Ⅰ)
- 〈大学院〉
- インド哲学仏教学専攻
- 博士前期課程
- インド哲学研究ⅠA B・インド哲学研究指導ⅡA B  
沼田一郎
- インド哲学研究ⅡA B・インド哲学研究指導ⅢA B  
橋本泰元
- インド哲学研究ⅣA B  
高島 淳
- インド哲学仏教学特殊演習A B  
伊藤 真
- インド仏教研究ⅠA・仏教学研究指導ⅢA  
岩井昌悟
- インド仏教研究ⅠB  
松村淳子
- インド仏教研究ⅡA B  
松村淳子
- インド仏教研究ⅢA B・仏教学研究指導ⅠA B  
渡辺章悟
- インド仏教研究ⅣA B・仏教学研究指導ⅡA B  
山口しのぶ
- インド仏教研究ⅤA B  
田中公明
- 東アジア仏教研究ⅠA B・仏教学研究指導ⅣA B  
伊吹 敦
- 東アジア仏教研究ⅡA  
蓑輪顕量
- 東アジア仏教研究ⅢA B  
林田康順

博士後期課程

インド哲学研究指導Ⅱ A B・インド哲学特殊研究Ⅱ A B

橋本泰元

インド哲学研究指導Ⅲ A B・インド哲学特殊研究Ⅲ A B

沼田一郎

仏教学研究指導Ⅰ A B・仏教学特殊研究Ⅰ A B

渡辺章悟

仏教学研究指導Ⅱ A B・仏教学特殊研究Ⅱ A B

山口しのぶ

仏教学研究指導Ⅲ A・仏教学特殊研究Ⅳ A

岩井昌悟

中国哲学専攻

中国哲学研究指導Ⅳ A B

白井 順

中国哲学演習Ⅱ A B・中国哲学研究指導Ⅲ A B

小路口聡

中国文学演習Ⅱ A B・中国哲学研究指導Ⅴ A B

大野公賀

中国哲学研究Ⅰ A B

中村 聡

中国文学特論Ⅲ A B

小路口聡

中国文学特論Ⅰ A B・中国哲学研究指導Ⅱ A B

野間信幸

中国文学特論Ⅱ A B・中国哲学研究指導Ⅰ A B

坂井多穂子

博士後期課程

中国哲学特殊研究Ⅰ A B・中国哲学研究指導Ⅰ A B

野間信幸

中国哲学特殊研究Ⅱ A B・中国哲学研究指導Ⅱ A B

大野公賀

中国哲学特殊研究Ⅲ・中国哲学研究指導Ⅲ A B

小路口聡

中国哲学特殊研究Ⅳ A B・中国哲学研究指導Ⅳ A B

坂井多穂子

中国哲学特殊研究Ⅴ A B・中国哲学研究指導Ⅴ A B

白井 順

二〇二二年度東洋思想文化学科卒業論文題目

〔I部〕

- 伊藤 茉優花 宗教がもつ暴力性について
- 吉田 智史 親鸞と『大乘起信論』—仏性観と思想構造の比較—
- 原嶋 くるみ 真宗カウンセリングと現代社会
- 柴 南都子 ヤオ族の文字文化
- 柴田 七静 日本における仏像制作の起源
- 清水 幸穂 『阿毘達磨俱舍論』における「法」の捉え方
- 石井 麻陽 輪廻説と無我説の矛盾—輪廻思想の諸問題について—
- 大森 彩乃 ムスリム女性とヴェール
- 大森 美咲 井上円了の妖怪学
- 大西 賢太 瑩山禪師における典座の役割や精神の受容・変容と教示対象
- 薄井 なつみ アイヌの信仰・文化と現代日本が直面する問題
- 福田 新 唐代の景教
- 王 琦 老子の「上善若水」及び現代意義
- 陳 欣璋 良知心学は「キレイゴト」？無用の長物？—王畿の良知心学からみる現代社会—
- 小島 稜平 中国の酒文化
- 須田 歩実 卓球における孫子の兵法
- 辰巳 和哲 白蛇伝アニメーションの変容
- 池田 ジュン 『聊齋志異』の翻案—芥川龍之介作品を中心に—
- 辻 大晴 『高い城の男』における『易経』の共時性と無意識
- 坪井 比呂 江戸期における中国白話小説受容過程の一視点
- 任 芷萱 翻案『女水滸伝』と『傾城三国志』の執筆背景—伊丹椿園と墨川亭雪磨の実像比較を通じて—
- 梅沢 陸生 『山海経』における原始崇拜の考察
- 齋藤 嶺治 資料から観る南京官話の変遷
- 井手 一沙 中国と日本の武道・武術の比較
- 手塚 利市 魚玄機詩の「恨」小論
- 池田 拓真 香港返還と香港映画
- 島田 のどか 陶淵明「飲酒」詩 小考
- 和田 美里奈 李白の飲酒詩について—春景描写を中心に—
- 趙 虹雯 現在に伝わる白蛇伝から見る人々の思想の変化を読み解く
- 蘇軾の惠州時期の作品について—荔枝の詩を中心に—
- 宇佐美 佳乃 コロナ禍に読む『論語』
- 茶谷 裕太 『論語』から読み解く理想の教育とは
- 町田 慧美 現代社会における性善説の意義について—性悪説と性無記説との対比において—

澤邊 夏毅	南宋裁判に見える思想と道学	神崎 茉由	藤野先生との出会いが魯迅の人生に及ぼした影響
安藤 啓人	近代中国のベスト流行による社会変容	田中 雅浩	中国文学と太宰治
解 宇航	李清照の生涯を貫く「花」	飯田 真央	『三國志演義』における曹操像と、実際に曹操が行った政策について
田中 蓮	猿声の比較について	鈴木 希美	仙台留学が魯迅の人生に与えた影響について
平良 野々花	『封神演義』における太公望像の再構成について	安藤 秀	『三種機能イデオロギー』説による『ラーマーヤナ』
野地 禎人	『ラストエンペラー』 清国最後の皇帝愛新覚羅溥儀	磯部 洋	『マハーバーラタ』における動物とその役割—— 神話学の視点から
丸本 京佳	初期仏教教団における女性出家者の実態	吉田 果穂	古代インド神話における動物のあり方
戸田 寿々	終末期患者とその家族における「死」の在り方	胡 紹川	『マヌ法典』における訴訟18主題についての考察
今井 玖弥香	南アジアの貧困、格差社会	紙屋 優希	ガンデーの不可触民論の限界—アンベードカルとの比較において—
佐々木 優緋	インドを指して	漆島 七菜	インドにおける差別問題と女性問題
山崎 良雅	中国とウイグル民族の歴史のこれまでとこれから	菅田 凌	インドの貧困状況とカースト制度とコロナ禍の現状
小池 史佳	憑き物信仰にみる、共同体における迷信の役割	成田 美来	なぜインドにおいてダウリー(結婚持参金の慣習は残るのだろうか
川原 健志朗	歴史における生活と健康—日本人の健康観に関する国際比較研究—	石田 夏那	不可触民の歴史と現代の問題について
大庭 栞	『ヨーガ・ストラ』と現代に伝わるヨガの書物の比較	多田 想	近現代インドにおける男女差別と日本
沢田 大輝	人間の死生観について	池田 怜央	神話の世界観が人々に与える影響と生き方—世界の神話とヒンドゥー教の神々—
熊谷 朱華	胡淑雯『太陽の血は黒い』にみる歴史の加害と被害	田中 理子	インド・イスラム文化の特性について
高嶋 輝	瞿佑と浅井了意の意識の差—『剪灯新話』と『伽婢子』から—	藤本 朱音	インドにおける女性問題の現状と今後の展望

平塚 遼	ヨーガにおける座法に意味はあるのか			
矢嶋 愛由	インドの留保制度とダリット問題について	トゥムトーン	ベッチャラット	方を中心として―
鈴木 萌久美	国民と協力しないモディ政権			仏教における疫病の対処―ブッダ存命時代における疫病対処法と現代の新型コロナウィルス蔓延をめぐって―
奥山 史穂	インド社会における女性差別について―伝統的社會習慣の側面から―			親鸞の六字釈に見る念仏往生の根源
齊藤 瑠	インドにおける死の文化について	三橋 夕茉	鎌倉期における立教開宗と祖師たちの原典理解	
奥山 力斗	日本の武道―武道の誕生から今―	三明 智達	日本人と宗教―巡礼様式を中心に―	
横関 友弥	アジアの食文化における変遷と人との関わり	中川 紗也香	道元と鈴木敏夫―現代にも通じる「只管打坐」の心―	日中間における仏教僧の飲酒についての比較研究―日中天台宗の不飲酒戒解釈について―
岩城 結衣	インドにおける女性差別	田村 紗也		
坂本 菜々子	日本における社会福祉と仏教―仏教社会福祉とターミナルケアを中心に―	齋藤 嘉泰		
山崎 玲美	日本のアイドル文化			
持田 優香	―インド芸術とインド音楽の関係―西洋人がインド音楽を受け入れるには			
上田 創太	宗教や伝承にみられる「蛇」の役割	菅原 優臣	太平洋戦争期における真宗大谷派の戦争協力	
千明 里緒	日韓関係―日韓問題と現代文化がもたらす影響について―	王 妙華	「百姓日用即是道」の社会思想家―王心齋の学問観と教育思想―	
中村 朱音	日本美術（絵画）の特質―自然が日本美術にもたらす影響―	王 瀚鐸	儒家思想から見る資本主義―渋沢栄一を通して考える―	
中村 理花	ジャポニズムが西洋絵画に与えた影響―ジャポニズムの観点から見る浮世絵の特徴―	高石 隆雅	『韓非子』における「勢」について	
日下 智貴	中世賤民の身分差別の性質と芸能の研究	鮎澤 雅尚	印度論理学の西洋論理学的解釈とVedānta(韃充概念)の考察	
林 直樹	インドにおけるイギリス介入と茶葉―アッサム地	橋本 有騎	首都東京で受け継がれる山岳崇拜と集落	

高谷 海地 インド仏教徒の目指す社会

今成 一秀 英雄カルナについての他神話の英雄との比較・考察

察

佐野 竜飛佳 日本におけるお酒の神聖性

山屋 玲央 インド映画が世界に与えた影響とその魅力

森谷 悠介 密教呪術とその特異性

浅野 弘史郎 手塚治虫の『ブッダ』に見出される手塚の生命観と死生観についての研究

幡野 匠生 日本のeスポーツ文化の現在とゲームによるマイ

ナスイメージの払拭

齋藤 藍杜 囲碁の社会的普及の歴史

遠藤 駿介 靖国神社と戦没者の「慰霊」―政治家の靖国参拝から考える―

塩谷 ゆん 仮面の音響効果 翁面―人と神を媒介する仮面―

斉藤 来夢 韓国の旧暦で祝う正月「ソルラル」―「近くて遠

い国」韓国の伝統風俗と現状から―

市村 妃蘭 原発事故避難当事者における宗教の役割―「違和感」の解明を求めて―

感」の解明を求めて―

### 大学院中国哲学専攻修士論文

鄭 丹 謝靈運詩の声律表現について

李 華偉 『四書改錯』における毛奇齡の思想

### 大学院インド哲学仏教学専攻修士論文

張 戦勝 明代初期における臨濟宗の動向―季潭宗泐を中心

(崇皇天)

として―